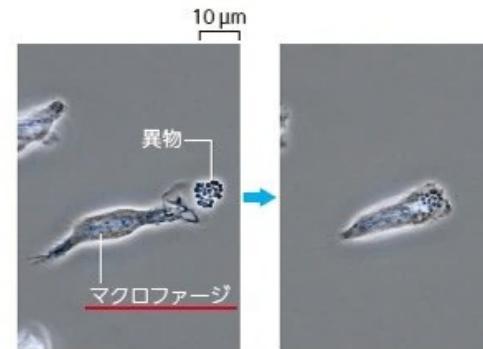
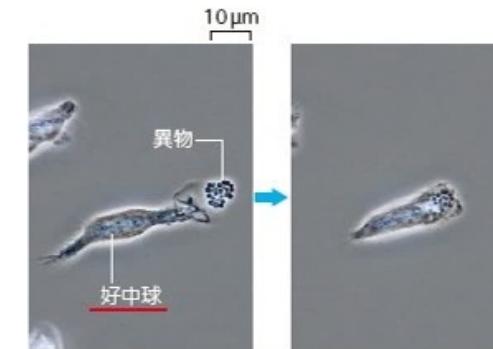
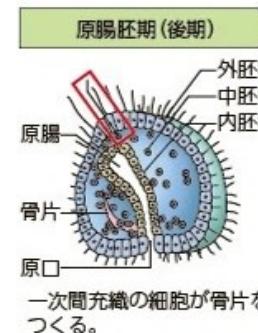
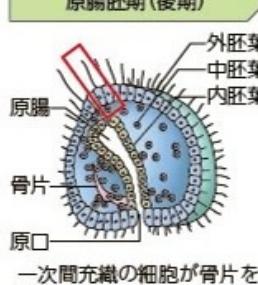


番号	訂正箇所		原 文	訂 正 文
	ページ	行		
1	31	7-8	<p>がある。ある遺伝子座に存在し得る遺伝子として互いに異なるものが複数あるとき、これらを対立遺伝子という。同じ<u>遺伝子</u>を2つもつ個体をホモ接合体、異なる<u>遺伝子</u>をもつ個体をヘテロ接合体という。</p>	<p>がある。ある遺伝子座に存在し得る遺伝子として互いに異なるものが複数あるとき、これらを対立遺伝子という。同じ<u>対立遺伝子</u>を2つもつ個体をホモ接合体、異なる<u>対立遺伝子</u>をもつ個体をヘテロ接合体という。</p>
2	94	図a	 <p>▲図a マクロファージによる食作用のようす</p>	 <p>▲図a 好中球による食作用のようす</p>
3	206	図7	 <p>原腸胚期(後期)</p> <p>外胚葉 中胚葉 内胚葉</p> <p>原腸 骨片 原口</p> <p>一次間充織の細胞が骨片をつくる。</p>	 <p>原腸胚期(後期)</p> <p>外胚葉 中胚葉 内胚葉</p> <p>原腸 骨片 原口</p> <p>一次間充織の細胞が骨片をつくる。</p>

番号	訂正箇所		原 文	訂 正 文
	ページ	行		
1	140	右	<p>いる。F₁で直接ATP合成活性を担っているサブユニットは、頭部に3つあるα^{にな}である。各αサブユニットは、F₀の回転体が1回転する間に1分子のATPを合成する。したがって、n/3個のH⁺の輸送により、ATPが1分子つくられることになる。</p>	<p>いる。F₁で直接ATP合成活性を担っているサブユニットは、頭部に3つあるβ^{にな}である。各βサブユニットは、F₀の回転体が1回転する間に1分子のATPを合成する。したがって、n/3個のH⁺の輸送により、ATPが1分子つくられることになる。</p>